

令和4年登呂博物館春季企画展

誕生 スルガノクニ

静岡市の奈良・平安時代

3/19_土 - 6/12_日



開館時間 9:00-16:30

休館日 月曜日、祝日の翌日（4/30は開館）

観覧料 一般300円 高校・大学生200円 小中学生50円

〒422-8033 静岡市駿河区登呂五丁目10番5号

TEL054-285-0476

<https://www.shizuoka-toromuseum.jp>



静岡市立登呂博物館

誕生 スルガノクニ

静岡市の奈良・平安時代

令和4年3月19日（土）
～6月12日（日）

いまはむかし、静岡が「スルガノクニ」と呼ばれはじめたころのおはなし

古墳時代に大和地方を中心にできたヤマト王権は地方の豪族をまとめ大きな国となり、後に天皇を中心とした国づくりがはじまりました。そして奈良・平安時代（8世紀～12世紀）になると、地方は大陸の影響を受けた新しい制度により統治されていきました。静岡市を含む地域は「駿河国（スルガノクニ）」と呼ばれ、中央から様々な制度や情報が持ちこまれました。

今回の展示では、国の政治体制のもと「制度」などがどのように地方に伝わり、古代「駿河国」は生まれたのか、静岡市や周辺地域から出土した考古資料などから紐解きます。

「スルガノクニ」はどのようにできたのか？

文字

各地方には、「官衙（かんが）」と呼ばれる役所が設置され、地方を支配するための拠点となりました。

関連の遺跡からは、文字が書かれた「墨書土器（ぼくしょどぎ）」や「木簡（もっかん）」などの文字資料も多く出土しており、記録や伝達を目的に文字が使われていたことがわかります。



当時使われていた硯
「円面硯」（ケイセイ遺跡）

道

この時代、中央の近畿地方と地方とを結ぶための道である「官道（かんどう）」も整備されました。この駿河国につくられた道は「東海道」と呼ばれ、様々なものの往来がありました。この東海道は、モノやヒトの往来の道であるとともに、情報を伝えるための道でもあったと考えられます。



古代東海道と考えられる道路遺構
（曲金北遺跡／静岡県埋蔵文化財センター提供）

仏教

仏教で国の安定を図ろうと、各地方には立地の良い場所に国分寺、国分尼寺が建立されました。当時の寺院の建設には瓦など新しい技術が持ち込まれました。静岡市駿河区大谷には、駿河国分寺であると考えられる「片山廃寺跡」があり、寺院関連の施設である金堂や講堂、僧房などの建物跡や屋根瓦が出土しています。



軒丸瓦（片山廃寺跡）

関連事業

講演会

「古代スルガノクニのまつりごと」

日時：令和4年5月15日（日）

13：30～15：00

講師：静岡県考古学会 丸杉 俊一郎 氏
（菊川市教育委員会）

場所：登呂博物館1階 登呂交流ホール

参加者：40名（申し込み順）

料金：100円

申込方法：静岡市コールセンター

Tel 054-200-4894

4/5（火）～5/12（木）

8：00～20：00

展示解説

日時：令和4年3月26日（土）

4月24日（日）

6月5日（日）

各日11：00～、14：00～

場所：登呂博物館 2階 特別・企画展示室
料金：無料（要観覧料）

静岡市立登呂博物館

開館時間 9：00～16：30

休館日 月曜日、祝日の翌日（4/30は開館）

観覧料 一般300円、

高校・大学生200円、小中学生50円

〒422-8033

静岡市駿河区登呂五丁目10番5号

Tel 054-285-0476

<https://www.shizuoka-toromuseum.jp>



《バス》JR静岡駅南口22番乗り場から石田街道線「登呂遺跡」行き（10分）終点下車

《車》東名静岡ICから約10分
東名日本平久能山スマートICから約10分
遺跡南側に有料駐車場50台有り
（普通車1台400円）

表面資料

- ①木製人形 / ケイセイ遺跡（静岡市教育委員会蔵）
- ②鬼瓦 / 片山廃寺跡（静岡市教育委員会蔵）
- ③人面墨書土器 / 箱根田遺跡（三島市教育委員会蔵）
- ④土製人形 / 伊豆通信病院敷地内遺跡（函南町教育委員会蔵）

